

作成年月日	令和元年10月21日
作成部局課室名	教育委員会事務局社会教育課

県立コウノトリの郷公園開園20周年記念事業記念式典・シンポジウムの開催

県立コウノトリの郷公園は、国の天然記念物であるコウノトリを保護し、その種の保存を図ることを目的として、平成11年11月1日に開園しました。今年は開園から20年という節目の年を迎えています。

本公園は①コウノトリの種の保存と遺伝的管理、②野生化に向けての科学と実践、③人と自然の共生の普及啓発、の3つの基本的機能（設置目的）を有し、これまでコウノトリの保護・増殖、野生復帰に取り組んできました。

平成17年9月24日には、秋篠宮殿下・妃殿下(当時)をお迎えし、初のコウノトリの野外放鳥を行いました。その後、野外での繁殖に成功し、初の野外放鳥から14年を経た現在、但馬地方を中心に県外へも繁殖地を拡大し、国内の野外コウノトリの生息数は185羽まで、着実にその数を増やしています。

このたび県立コウノトリの郷公園では、開園20周年を記念して、式典及びシンポジウムを下記のとおり開催します。

記

1 開催日 令和元年11月2日（土）

2 主な内容

(1) 記念式典(10:30～11:25)

- ① 場所：県立コウノトリの郷公園内
豊岡市立コウノトリ文化館多目的ホール
- ② 内容：・『げんきくん物語』読書感想文コンクール表彰式
・記念DVD「郷公園20年の軌跡」上映
・児童合唱「コウノトリのうた」 豊岡市立三江小学校児童

(2) 新ドーム型ケージお披露目式(11:45～12:10)

- 場所：県立コウノトリの郷公園東公開エリア
・経緯説明
・ケージ内ペア放鳥式

(3) 記念シンポジウム(13:30～16:20)

テーマ：コウノトリとの約束からコウノトリとの未来へ

- ① 場所：豊岡市民プラザ
- ② 対象者：一般市民
- ③ 内容：・DVD上映「コウノトリ野生復帰事業の足跡」
・記念講演 天然記念物制度とコウノトリの野生復帰事業
〈演者〉江戸謙顕 文化庁文化財第二課天然記念物部門文化財調査官
・報告「野生復帰事業のこれまで」
〈報告者〉江崎保男郷公園長、佐川志朗統括研究部長



・パネルディスカッション

「コウノトリとの未来を考える～野生復帰事業の課題と展望～」
〈パネリスト〉三浦慎悟早稲田大学名誉教授、郷公園各研究部長等

④ 参加費：無料

⑤ 参加申込方法 参加希望の方は住所・氏名・年齢・電話番号を電話、ファックス、郵送またはホームページから10月18日(金)までにお申込みください。

3 関連行事

■県立コウノトリの郷公園デー

① 期 間：令和元年11月2日(土)～4日(月・振)

② 事 業：新ケージ公開、非公開エリア(飼育ゾーン)特別公開

郷公園「秋の茶会」(文化館「茶会“鶴見茶屋”」)

「約束のケージ」特別公開(保護増殖センター)

郷公園・県立大学研究事業紹介、ミニ講座

スタンプラリー「ぐるっと郷公園」

※一日園長 「げんきくん物語読書感想文コンクール」知事賞受賞者

<参考>

県立コウノトリの郷公園の沿革(抜粋)

平成11年4月 兵庫県立コウノトリの郷公園一部供用開始
増井 光子初代園長就任
11月 開園(全面供用開始)
平成17年9月 試験放鳥開始
平成19年7月 試験放鳥後初の野外繁殖成功
平成21年10月 開園10周年記念式典の開催
平成22年10月 山岸 哲2代目園長就任
平成23年8月 「コウノトリ野生復帰ランドデザイン」策定
平成27年10月 放鳥10周年記念セレモニーの開催
平成29年6月 野外コウノトリ100羽記念イベントの開催
平成31年4月 江崎 保男3代目園長就任
令和元年11月 開園20周年記念式典の開催

<申し込み・問い合わせ先>

県立コウノトリの郷公園

住 所：〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地

電 話：0796 (23) 5666

ファクス：0796 (23) 6538

電子メール：kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp

兵庫県立コウノトリの郷公園
20周年記念シンポジウム

20th Anniversary Commemoration Symposium

「約束」から
コウノトリとの
「未来」へ

2019 11.2 〈SAT〉

日時／2019年11月2日(土) 13:30～16:20

会場／アイティ7階 豊岡市民プラザ

参加費／無料



兵庫県立コウノトリの郷公園
Hyogo Park of the Oriental White Stork

兵庫県立コウノトリの郷公園 20周年記念シンポジウム



兵庫県立コウノトリの郷公園は、野外で一度は絶滅した国の特別天然記念物コウノトリを蘇らせ、野生復帰を目指す施設として、1999年11月に開園しました。今や野外のコウノトリは180羽を超え、生息域は全国へ拡がり、野生復帰事業は新しいステージに入りました。

開園20周年を迎えた郷公園では、「コウノトリとの約束からコウノトリとの未来へ」をテーマにした講演やパネルディスカッションを開催いたします。この機会に多くの方々とコウノトリの野生復帰事業について思いを巡らすことができればと願っております。

PROGRAM

13:30	あいさつ 西上 三鶴 (兵庫県教育長)
13:35	DVD上映 コウノトリ野生復帰事業の足跡
13:45	記念講演 天然記念物制度とコウノトリの野生復帰事業 江戸 謙顕 (文化庁文化財第二課天然記念物部門文化財調査官)
14:15	報告 野生復帰事業のこれまで ◇コウノトリとの約束は果たせたのか 佐川 志朗 (兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科長/郷公園統括研究部長) ◇コウノトリ野生復帰ランドデザインはどこまで達成できたか 江崎 保男 (兵庫県立コウノトリの郷公園長)
14:55	～ 休憩 ～
15:10	パネルディスカッション コウノトリとの未来を考える～野生復帰事業の課題と展望～ (パネリスト) 三浦 慎悟 (早稲田大学名誉教授) 大迫 義人 (兵庫県立大学教授/郷公園エコ研究部長) 川村 教一 (兵庫県立大学教授/郷公園ジオ研究部長) 中井 淳史 (兵庫県立大学教授/郷公園ソシオ研究部長) 出口 智広 (兵庫県立大学准教授/郷公園主任研究員) (コーディネーター) 山室 敦嗣 (兵庫県立大学教授/郷公園主任研究員)
16:10	総括・謝辞 江崎 保男 (兵庫県立コウノトリの郷公園長)

PROFILE



江戸 謙顕氏 (文化庁文化財調査官)

東京都出身。北海道大学大学院修了。博士(地球環境科学)。専門は動物生態学、保全生物学。日本学術振興会の特別研究員などを経て、文化庁に勤務。現在、コウノトリやカモシカ、オオサンショウウオなどの天然記念物の保護管理や天然記念物の指定などに従事。著書には『生物と環境 地球環境サイエンスシリーズ第8巻』(三共出版)など。



三浦 慎悟氏 (早稲田大学名誉教授)

東京都出身。東京農工大学大学院修了、理学博士(京都大学)。専門は哺乳類の行動生態学、野生動物管理学。新潟大学農学部教授、早稲田大学人間科学学術院教授を経て、早稲田大学名誉教授。兵庫県のコウノトリ野生化対策懇話会座長。著書には『動物と人間—関係史の生物学』(東京大学出版会)、『ワイルドライフ・マネジメント入門』(岩波書店)など。

場所

豊岡市民プラザ(アイティ7階)
〒668-0031 兵庫県豊岡市大手町4-5



■ 参加費 無料 (※参加希望者多数の場合は、先着200名までとします。)

■ 申込締切 10月18日(金) (※但し、定員に満たない場合は当日まで受け付けます。)

■ 申込方法

氏名、住所、電話番号などを記載の上、

E-Mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp (@を半角に)宛にメールで、

または、Tel:0796-23-5666かFax:0796-23-6538で、お申し込みください。

申込書

氏名	(歳)	住所
電話番号		E-mail

●お問い合わせ 〒668-0814 兵庫県豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128
TEL:0796-23-5666 FAX:0796-23-6538

●主催:兵庫県立コウノトリの郷公園

●共催:兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科

●後援:豊岡市、養父市、朝来市、コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS)

開園20周年

20th Anniversary
兵庫県立コウノトリの郷公園
Hyogo Park of the Oriental White Stork

